

タイトル	平成30年度 推薦入試 教育学部（障害児教育 専攻） 小論文 および 面接
評価のポイント	<p>（小論文）</p> <p>特定の教科に限られない幅広い理解力・判断力・問題解決能力・表現力等を評価するために小論文試験を実施しています。</p> <p>評価に当たっては、次の三点を特に重視します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①問題のテーマをよく理解したか。 ②問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。 ③記述に当たっての論理的な運びが正しく、論旨が明快であるか。 <p>問題1</p> <p>南米出身日系人等の「ニューカマー」の不就学の背景についての考えを述べる問いです。評価に当たっては、次のような点を特に重視します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下線部に挙げられた理由以外の不就学の理由について言及しているか。 ・なぜそのように思うのか、根拠を論理的に説明しているか。 <p>出典：北脇保之（2010）日本社会の多文化化に伴う教育上の課題と東京外国語大学の取組み。日本国際教育学会創立20周年記念年報編集委員会（編）国際教育学の展開と多文化共生。学文社。一部を改変しました。</p> <p>問題2</p> <p>著者が提案する、「A者とB者のどちらの主張も合わせたくて、両者が納得できるような第3のアイデアを考え出す」という「共通了解志向型ディベート」を踏まえた上で、A者「授業は、子どもの興味・関心を活かして進めるべきである」、B者「授業は、興味・関心に関係なく教え込むべきである」という主張をする両者が納得できる第3のアイデアについて、考えを述べる問いです。</p> <p>評価に当たっては、次のような点を特に重視します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A者、B者のそれぞれの主張の理由を考え、説明することができるか。 ・両者の主張（または立場）に理解を示しながらも、A者の主張のみを支持したりB者の主張のみを支持したりせずに、両者が納得できる第3のアイデアを考え、わかりやすく述べることができるか。 <p>出典：苫野一徳（2013）勉強するのは何のため？僕らの「答え」のつくり方。日本評論社。一部を改変しました。</p> <p>（面接）</p> <p>将来、教員になるにあたっての資質を現段階において備えているかを判断するために面接試験を実施しています。面接者の質問に適切に対応できているか、障害児教育専攻に対する志望動機が明確か、基本的なコミュニケーションスキルや協調性を備えているか等から評価しています。</p>